

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| 科目名 | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|------------------------|--|---|
| 情報処理 | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/後期 | 講義 ・ 演習 ・ 実習 |
| 授業の回数(×90分) | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 授業担当者 |
| 15回 | 1単位(30時間) | 必須 | 田井 麻友美 (実務経験有) |
| <p>[授業の目的・ねらい] PowerPoint2016を使って企画書から発表までを行えるプレゼンテーション資料を作成できるスキルを身につけ、実際にプレゼンテーション発表することを目的とする。</p> <p>【実務経験有】田井 麻友美:MCT2010等の資格をもち、企業等での指導経験も踏まえて、学生が社会に出てから必要なスキルを教授できる。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)] 1. 卒業研究データを整理・分析し、プレゼンテーション資料をPowerPointで作成ができる。 2. PowerPoint2016のアニメーションを使い、プレゼンテーションができる。</p> | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 回 | 単 元 | 内 容 | 学習のポイント |
| 1 | プレゼンテーション資料の作成 | 1)スライドの挿入 | |
| | | 2)プレスホルダと文字の編集 | |
| | | 3)イラスト、画像の挿入 | |
| | | 4)ワードアートの挿入 | |
| 2 | | 5)グラフ、表の挿入 | |
| | | 6)図形の作成、編集 | |
| | | 7)アニメーション効果設定 | |
| 3 | | 8)スライドマスタ | |
| | | 9)ノートの作成 | |
| | | 10)スライドショーの実行 | |
| 4 | | 11)アニメーション効果設定 | |
| | | 12)スライドマスタ | |
| | | 13)ノートの作成 | |
| | | 14)スライドショーの実行 | |
| 5 | パソコンを用いた 演習(歯科衛生研究) | 1) 歯科衛生研究(情報収集・分析) | ・テーマに基づいて調査データを分析し、仮説を立てる ・調査データの図・表の作成 ・全体構成および発表原稿の制作 |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | 2) 歯科衛生研究(パワーポイントの制作) | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | 課題発表 | 1)プレゼンテーション発表 | |
| | | | 事前学習 |
| | | | 次回の授業内容をふまえてテキストを用いて予習する |
| [使用テキスト] | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| ・「よくわかるMicrosoft Power Point2016基礎」 富士通エフ・オー・エム株式会社 FOM出版 | | 1) 実習・実技評価 : 60% 2) 課題・レポート : 30% 3) 出席率 : 10% | |

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| 科目名 | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|------------|--|--|
| 栄養学 | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/前期 | 講義・演習・実習 |
| 授業の回数(×90分) | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 授業担当者 |
| 15回 | 2単位 (30時間) | 必須 | 松田 珠生 (実務経験有) |
| <p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>生命現象を分子レベルの化学反応として理解し、生命体の活動に必要な栄養素の摂取と働きから、健康の維持と増進を考える態度を養うために、栄養と代謝に関する基本的知識を習得する。</p> <p>【実務経験有】松田 珠生: 栄養士の資格をもち、介護支援専門員および歯科衛生士としての業務経験をもとに、学生へ栄養と代謝における基礎知識を教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の維持と増進のために必要とされる、栄養の概略が説明できる。 2. 食事摂取基準とは何かを説明できる。 3. 食品から摂取している糖質、たんぱく質および資質について、それぞれの生態での役割を概説できる。 4. 成長期、成人期及び高齢期に至るライフステージ別の食生活の特徴を把握できる。 5. 健康づくりのための食事計画を立案できる。 | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 回 | 単 元 | 内 容 | 学習のポイント |
| 1 | 栄養の基礎 | 1)食生活と栄養 | <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康、栄養調査 ・消化酵素 ・食事摂取基準 ・推定エネルギー必要量、基礎代謝量 ・BMI ・脂肪エネルギー比率 ・単糖類、二糖類、多糖類 ・グルコース ・必須アミノ酸、非必須アミノ酸 ・単純脂質、複合脂質、ステロール、脂肪酸 ・飽和脂肪酸、不飽和脂肪酸、必須脂肪酸 ・水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン ・欠乏症、過剰症 ・硬組織の主成分 ・欠乏症、過剰症 ★確認テスト ・栄養摂取量、食品群別摂取量 ・食事バランスガイド ・健康日本21 ・特定保健用食品 ・食育基本法 ・妊娠期、授乳期 ・咀嚼困難者 ・嚥下困難者 ・食品成分表 |
| 2 | 食事摂取基準 | 2)栄養素の消化・吸収 | |
| 3 | | 1)推定エネルギー必要量 | |
| | | 2)基礎代謝 | |
| 4 | 栄養素の働き | 3)日本人の食事摂取基準 | |
| 5 | | 1)糖質の栄養的意味 | |
| 6 | | 2)たんぱく質の栄養的意味 | |
| 7 | | 3)脂質の栄養的意味 | |
| 8 | | 4)ビタミンの栄養的意味 | |
| 9 | | 5)ミネラルの栄養的意味 | |
| 10 | | 6)水の栄養的意味 | |
| 11 | 食生活と健康 | 7)食物繊維の栄養的意味 | |
| 12 | | 1)国民の健康と栄養の現状 | |
| 13 | | 2)望ましい食生活 | |
| 14 | | 3)ライフステージ別の栄養と管理 成長期における栄養と調理の特性 | |
| 15 | | 4)ライフステージ別の栄養と管理 成人期における栄養と調理の特性 | |
| | 食べ物と健康 | 5)ライフステージ別の栄養と管理 高齢期における栄養と調理の特性 | |
| | | 1)食品の成分と分類 | |
| | | 2)食べ物の物性 | |
| | | | 事前学習 |
| | | | 次回の授業内容をふまえてテキストを用いて予習する |
| [使用テキスト] | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| ・最新歯科衛生士教本 「人体の構造と機能2 栄養と代謝」 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版(参考テキスト) 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社 | | 1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10% | |

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| 科目名 | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|------------|--|--|
| 衛生行政・社会福祉論 | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/後期 | 講義・演習・実習 |
| 授業の回数(×90分) | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 授業担当者 |
| 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 菊本 暁人・坪田 ゆかり (実務経験有) |
| <p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>日本の保険・医療・福祉制度と医事法制を理解し、歯科衛生のあり方を考える態度を養うために、歯科衛生士に必要な法律・制度に関する基本的知識を習得する。</p> <p>【実務経験有】菊本 暁人:社会福祉士、坪田 ゆかり:歯科衛生士の資格を活かし、実務経験をもとに医療と福祉に関する法制度を学生に教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科衛生士資格の成り立ちと目的を説明できる。 2. 歯科衛生士義務とその法的根拠を説明できる。 3. 憲法第25条で示す社会保障の種類を列挙できる。 4. 医療保険の種類とその法律を説明できる。 5. 歯科衛生士に関する社会福祉を説明できる。 | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 回 | 単 元 | 内 容 | 学習のポイント |
| 1 | 社会保障制度 | 1)わが国の社会保障制度 2)社会保障の目標と機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の目的 ・歯科衛生行政の組織 ・国民の健康と傷病の状況 ・医療関係者の現況 |
| 2 | | 3)社会保障費の給付と国民負担 4)ライフステージ別の社会保障制度 | |
| 3 | 衛生行政 | 1)衛生行政の目的 2)衛生行政の変革・組織 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の内容 ・社会福祉に関わる専門職種 ・公的扶助 ・老人福祉 ・母子福祉 ・障害者福祉 |
| 4 | 衛生関係法 | 1)法制概論 2)関連する医療関係者の身分に関する法 | |
| 5 | | 3)医療法・薬事に関する法 4)地域保健に関連する法・感染症に関する法 | |
| 6 | | 5)感染症に関する法 | |
| 7 | 保健医療の動向 | 1)厚生関係統計調査 2)国民の健康状態と受領状況 | |
| 8 | 社会福祉 | 1)社会福祉の沿革 2)制度と法 | ★確認テスト |
| 9 | 歯科衛生士と法律 | 1)歯科衛生士国家試験 2)歯科医師法 3)歯科技工士法 | <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士法の変革 ・歯科教育機関と職能団体 ・歯科衛生士法の変革 |
| 10 | | | |
| 11 | 衛生関係法 | 1)食品安全、食育に関する法 | |
| 12 | 医療法 | 1)総則に関する事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・保険者・被保険者・被扶養者 ・診療報酬診療支払い機関 ・医療保険の種類 ・保険診療の流れ ・介護保険の仕組み |
| 13 | 医療保険 | 1) 歯科衛生士と医療保険 2) 医療保険の仕組み | |
| 14 | 介護保険 | 1) 歯科衛生士と介護保険 2) 介護保険の仕組み | |
| 15 | | 3) 介護保険の実際 | |
| | | | |
| [使用テキスト] | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険【第9版】 医歯薬出版株式会社 | | <ol style="list-style-type: none"> 1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10% | |

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| 科 目 名 | 学 科 / 学 年 | 年 度 / 時 期 | 授 業 形 態 |
|---|-----------------|-------------------------|---|
| 歯科衛生学総論 | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/前期 | 講義 ・ 演習 ・ 実習 |
| 授 業 の 回 数 (×90分) | 単 位 数 (時 間 数) | 必 須 ・ 選 択 | 授 業 担 当 者 |
| 15回 | 1単位 (30 時間) | 必 須 | 坪田 ゆかり (実務経験有) |
| <p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>臨床における歯科衛生過程の演習としてアセスメント(情報収集)を実施し指導計画を立案する。歯科衛生過程の考え方をもとに書面化することを目的とする。</p> <p>【実務経験有】坪田 ゆかり: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科衛生過程を活用方法を学生へ教授する。</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者歯科における歯科衛生業務で歯科衛生過程を活用できる。 2. 障害者歯科における歯科衛生業務で歯科衛生過程を活用できる。 3. 在宅や高齢者施設における事例と歯科衛生過程を関連付けることができる。 | | | |
| [授 業 の 内 容] | | | |
| 回 | 単 元 | 内 容 | 学 習 の ポ イ ン ト |
| 1 | 歯科衛生過程 (高齢者) | 1) 歯科衛生過程とは | <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔内の観察 ・ 歯式の記入 ・ 主観的情報、客観的情報 ・ 情報処理、整理分析、解釈 ・ 問題の明確化 ・ 情報の統合 ・ 優先順位の決定 ・ 目標の設定 |
| 2 | | 2) 歯科衛生アセスメント | |
| 3 | | 3) 歯科衛生診断 | |
| 4 | | 4) 歯科衛生計画立案 | |
| 5 | | 5) 歯科衛生介入・歯科衛生評価 | |
| 6 | | 6) 書面化 | |
| 7 | | 7) 発表 | |
| 8 | 歯科衛生過程 (障害者) | 1) 歯科衛生過程とは | <ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔内の観察 ・ 歯式の記入 ・ 主観的情報、客観的情報 ・ 情報処理、整理分析、解釈 ・ 問題の明確化 ・ 情報の統合 ・ 優先順位の決定 ・ 目標の設定 |
| 9 | | 2) 歯科衛生アセスメント | |
| 10 | | 3) 歯科衛生診断 | |
| 11 | | 4) 歯科衛生計画立案 | |
| 12 | | 5) 歯科衛生介入・歯科衛生評価 | |
| 13 | | 6) 書面化 | |
| 14 | | 7) 発表 | |
| 15 | | 8) まとめ | |
| | | | 事前学習 |
| | | | 次回の授業内容をふまえてテキストを用いて予習する |
| [使用テキスト] | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| ・最新歯科衛生士教本「高齢者学」「障害者学」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社 ・よくわかる歯科衛生過程 | | 1) 課題・レポート : 100% | |

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| 科目名 | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|----------------------|---|--|
| 歯科衛生学総論 | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/後期 | 講義 ・ 演習 ・ 実習 |
| 授業の回数(×90分) | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 授業担当者 |
| 15回 | 1単位(30 時間) | 必須 | 横井 敦子 (実務経験有) |
| <p>[授業の目的・ねらい] 救命救急処置のために必要なバイタルサインの測定や処置器材の使用法を習得する。</p> <p>【実務経験有】横井 敦子: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科治療時の全身的偶発症やその対応についての知識や技術を学生に教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科治療時の全身的偶発症の概要を説明できる。 2. バイタルサインの測定ができる。 3. 一次救命処置について説明できる。 4. 一次救命処置が模型上で実施できる。 | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 回 | 単 元 | 内 容 | 学習のポイント |
| 1 | 歯科衛生士がかかわる 医科疾患患者 | 1) 本授業のねらいと学習内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・心疾患、高血圧、低血圧 ・歯科診療上での注意点 ・貧血 ・歯科診療上での注意点 ・血管迷走神経反射 |
| 2 | | 2) 主な全身疾患とその対応 | |
| 3 | | 3) 循環器疾患 | |
| 4 | | 4) 血液疾患 | |
| 5 | | 5) 歯科治療時の全身的偶発症 | |
| 6 | 全身的症状 | 1) 救急処置 | <ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインの把握 ・モニタリング ・一次救命処置 ・二次救命処置 ・神経性ショックとその処置 |
| 7 | | 2) 心肺蘇生法 | |
| 8 | | 3) その他の処置 | |
| 9 | | 救急蘇生法実習 | |
| 10 | | 1) 気道の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・過換気症候群とその処置 ・アナフィラキシーショックとその処置 |
| 11 | | 2) 異物除去法・エアウェイの挿入 | |
| 12 | | 3) 人工呼吸法 | |
| 13 | | 4) 胸骨圧迫マッサージ | |
| 14 | | 5) 実習 | |
| 15 | | | 事前学習 |
| | | | 次回の授業内容をふまえて テキストを用いて予習する |
| [使用テキスト] | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・最新歯科衛生士教本「口腔外科・歯科麻酔」 ・最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社 | | 赤十字救急法基礎・救急員養成講習会講義を受け、演習に参加しているものが試験に参加できる 1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10% | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・授業時配布テキスト | | | |

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| 科目名 | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|------------|--|--|
| 歯周病予防法 | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/前期 | 講義 ・ 演習 ・ 実習 |
| 授業の回数(×90分) | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 授業担当者 |
| 15回 | 1単位(30時間) | 必須 | 横井 敦子・北原 恵子 坪田 ゆかり・白川 みずえ(実務経験有) |
| <p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。この授業では1、2年次で学んだ知識と技術をもとに実習を行う。臨床における歯科衛生過程の演習としてアセスメント(情報収集)を実施し指導計画を立案する。また、歯科衛生過程の考え方をもとに書面化することを目的とする。</p> <p>【実務経験有】横井 敦子・北原 恵子・坪田 ゆかり・白川 みずえ: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに臨床における歯科衛生士業務の知識や技術を学生へ教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習を行うにあたり、自らすすんで学習準備ができる。 2. 患者に対する態度が適切で、身だしなみ、言葉遣いなど患者に対する基本的マナーを身につけることができる。 3. アセスメントにおける手技がスムーズで適切に行うことができる。 4. 実習後のグループ討議では積極的に発言しクリティカルシンキングを基本としたEBMの実践を行う力を身につける。 | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 回 | 単 元 | 内 容 | 学習のポイント |
| 1 | 合同実習について | 1)目的 | 歯科衛生過程について概要を復習する |
| 2 | | 2)具体的内容 | |
| 3 | | 3)アセスメント項目について | |
| 4 | 総合実習1 | ・口腔内診査 | 手技の確認 机上での復習 |
| 5 | | ・口腔内写真 | |
| 6 | | ・歯周病基本検査 | |
| 7 | | 1)相互実習による技術の確認 | |
| 8 | 総合実習2 | ・記載法 | 正確さ、スピード、声掛け、説明力 模擬患者への接し方のシミュレーション |
| 9 | | ・医療面接 | |
| 10 | | ・レントゲン撮影法 | |
| 11 | | ・超音波スケーリング | |
| 12 | | ・バキュームテクニック | |
| 13 | 総合実習3 | ・PTC、PMTC | 術者としての基本的技術の確認 アシスタントとしての役割と患者への配慮 |
| 14 | | ・キュレットスケーリング | |
| 15 | | 1)相互実習 | |
| 16 | 症例検討 | 2)歯科衛生過程復習 | グループ討議で症例を共有し意見交換を行う |
| 17 | | 3)書面化 | |
| 18 | まとめ | 4)患者に対する態度とは | 積極的に参加し討議を行う |
| 19 | | ・各グループに分かれ情報収集と介入を実習する | |
| | | | 事前学習 |
| | | | 次回の授業内容をふまえてテキストを用いて予習する |
| [使用テキスト] | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| ・最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 ・最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」 ・最新歯科衛生士教本「歯周病学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 監修 ・プリント | | 1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10% | |

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| 科目名 | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|--------------------|--|---|
| 歯科保健指導論 | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/前期 | 講義 ・ 演習 ・ 実習 |
| 授業の回数(×90分) | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 授業担当者 |
| 15回 | 1単位(30時間) | 必須 | 坂口 千恵美 ・ 坪田 ゆかり 横井 敦子 ・ 北原 恵子(実務経験有) |
| <p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。 全身疾患や機能障害に配慮した歯科保健指導を行うために専門的知識、技術および態度を習得する。</p> <p>【実務経験有】坂口 千恵美:理学療法士の資格を活かし、業務経験をもとにライフステージにおける歯科保健指導の知識や技術を学生へ教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 器質的・機能的口腔ケアを実践できる。 2. 摂食・嚥下訓練の基本手技を修得する。 3. 摂食・嚥下障害患者の食事時の留意点を挙げ、食事指導できる。 4. 口腔機能向上のレクリエーションを立案し、実演できる。 | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 回 | 単 元 | 内 容 | 学習のポイント |
| 1 | リハビリテーションとは | 1)リハビリテーションの考え方 | ・トータルリハビリテーション |
| 2 | | 2)咀嚼の運動学 | ・顎関節を構成する骨、筋、結合組織 |
| 3 | | 3)口腔ケア、摂食指導時の正しい体位のとりかた | ・誤嚥のメカニズム |
| 4 | | 4)顎関節の運動機能評価と臥位 | ・顎関節障害 |
| 5 | | 5)レクリエーション概論 | |
| 6 | 口腔ケアの実践 | 1)口腔機能の獲得と維持・回復 | |
| 7 | | 2)口腔ケアの実際 | ・目標、歯科衛生介入 |
| 8 | | 3)セルフケアの器具、薬剤、取扱い方法 | ・歯科衛生診断 |
| 9 | | 4)症例実習 | ・歯ブラシ、義歯ブラシ、歯磨剤 |
| 10 | 特別支援学校における歯科保健指導 | 1)情報の読み方 | |
| 11 | | 2)歯科衛生計画立案 | |
| 12 | | 3) 歯科保健指導のツール | |
| 13 | 口腔機能向上のレクリエーションの準備 | 1)レクリエーションの目的 | |
| 14 | | 2)レクリエーション計画立案① | |
| 15 | | 3)レクリエーション計画立案② | |
| | | | 事前学習 |
| | | | 次回の授業内容をふまえてテキストを用いて予習する |
| [使用テキスト] | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| ・歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 医歯薬出版株式会社 ・最新歯科衛生士教本「障害者歯科」 ・最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社 | | 1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10% | |

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| 科目名 | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|--------------|--|--|
| 卒業研究 | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/前期 | 講義・演習・実習 |
| 授業の回数(×90分) | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 授業担当者 |
| 15回 | 2単位(30時間) | 必須 | 北原 恵子 ・ 横井 敦子 坪田 ゆかり ・ 白川 みずえ(実務経験有) |
| <p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>1年次、2年次で得た知識、臨床実習で得た経験を元に、卒業研究のテーマを決定する。卒業研究を作成することで、企画力、調査能力、問題解決能力を身につける。前期では卒業研究を完成させ、後期にパワーポイントを作成し発表を行う。</p> <p>【実務経験有】北原 恵子・横井 敦子・坪田 ゆかり・白川 みずえ: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科衛生研究の方法を学生へ教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学内で研究発表をする。 2. 研究計画が立てられ、計画に沿って研究を進めることができる。 3. データの収集と分析ができる。 | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 回 | 単 元 | 内 容 | 学習のポイント |
| 1 | 歯科衛生研究の考え方 | 1)研究とは何か | <ul style="list-style-type: none"> ・臨床症例研究、疫学調査研究 ・研究課題、計画、実施、解析 ・論文の形式、評点 ・研究計画書の提出 ・卒業論文の提出 |
| 2 | 研究のプロセスと研究成果 | 2)歯科衛生業務における研究 | |
| 3 | 卒業論文のまとめ方 | 1)研究の進め方 2)テーマの設定と計画の方法 | |
| 4 | 卒業研究のテーマの設定 | 1)データ分析方法 2)論文の形式について | |
| 5 | 卒業研究計画 | 1)研究テーマを見出すために 2)研究テーマの絞り込み・決定 | |
| 6 | | 1)仮説の設定 2)研究方法の立案 3)研究計画書の作成 | |
| 7 | | 4)研究計画書提出と研究用具の準備 | |
| 8 | 研究の実施 | 1)質問紙調査票の作成 | |
| 9 | | 2)データの回収と点検① | |
| 10 | | 3)データの回収と点検② | |
| 11 | | 4)データの回収と点検③ | |
| 12 | データ処理 | 1)データの分析と整理① | |
| 13 | | 2)データの分析と整理② | |
| 14 | 卒業論文の作成 | 1)卒業論文の作成① | |
| 15 | | 2)卒業論文の作成② | |
| | | | 事前学習 |
| | | | 次回の授業の内容を踏まえて 研究の進捗状況に合わせて考察しておく |
| [使用テキスト] | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| テキストなし | | <ol style="list-style-type: none"> 1) 課題・レポート : 90% 2) 出席率 : 10% | |

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| | | | |
|--|------------|--|--------------------------------------|
| 科目名 | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 臨地実習① | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/通年 | 講義 ・ 演習 ・ 実習 |
| 授業の回数(×90分) | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 授業担当者 |
| | 8単位(360時間) | 必須 | 横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・ 白川 みずえ(実務経験有) |
| <p>[授業の目的・ねらい] 歯科衛生業務を修得するために、歯科診療、地域保健活動などの場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。</p> <p>【実務経験有】横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・白川 みずえ:歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科衛生分野における知識、技術および態度を身につけることができるよう教授する。</p> | | | |
| [内 容 と 計 画] | | | |
| 事前学習として「実習要綱」「オリエンテーション資料」を熟読し、課題に合格する。また、臨地実習後は課題レポートを提出し実習の学びを共有する。(詳細については「実習要綱」を参照) | | | |
| ライフステージ | 実習施設 | 実習目標 | |
| 1 配慮を要する者 | 総合病院 | 1.総合病院の特殊性を理解し有病者に対し配慮できる 2.医療安全管理の配慮した行動ができる 3.周術期において口腔健康管理の効果を理解する 4.口腔健康管理・摂食嚥下の支援・特殊環境下において対象者に応じた対応ができる | |
| 2 乳幼児期～老年期 | 歯科診療所 | 1. 歯科医師、歯科衛生士からの指示内容を理解し、実践できる 2. 資料やデータから歯科衛生業務の内容を判断できる 3. 対象者に応じた口腔健康管理ができる 4. 業務記録の記述ができる (詳細は「実習要綱」を参照) | |
| [使用テキスト] | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| 最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論第2版」 「歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版」 「高齢者歯科第2版」「障害者歯科第2版」 「小児歯科第2版」「保健生態学第2版」「口腔外科・歯科麻酔」 「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション」 | | 1) 臨地実習指導者からの評価 : 60% 2) レポート内容および態度 : 40% | |

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| 科目名 | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|-------------|---|--------------------------------------|
| 臨地実習② | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/通年 | 講義 ・ 演習 ・ 実習 |
| 授業の回数(×90分) | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 授業担当者 |
| | 2単位(90時間) | 必須 | 横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・ 白川 みずえ(実務経験有) |
| <p>[授業の目的・ねらい] 歯科衛生業務を修得するために、歯科診療、地域保健活動などの場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。</p> <p>【実務経験有】横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・白川 みずえ: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとにライフステージ別の口腔健康管理ができるよう教授する。</p> | | | |
| [内 容 と 計 画] | | | |
| 事前学習として「実習要綱」「オリエンテーション資料」を熟読し、課題に合格する。また、臨地実習後は課題レポートを提出し実習の学びを共有する。(詳細については「実習要綱」を参照) | | | |
| ライフステージ | 実習施設 | 実習目標 | |
| 1 乳幼児期 | 保育所 (3歳～5歳) | 1. 幼児期の一般的特徴、口腔の特徴および歯科保健活動を理解する 2. 幼児期の身体や口腔機能の発達段階を理解する 3. 幼児期に応じたコミュニケーションがとれる | |
| 2 老年期 | 地域連携 | 1. 過疎地域に密着した歯科医院ならではの取り組みを知る。 2. 地域医療における歯科衛生士の役割を知る 3. 介護予防における歯科衛生活動を知る | |
| | 地域包括支援センター | 1. 健康教育の対象と場の特徴を説明できる 2. 地域支援事業における歯科衛生士の役割を知る 3. 地域支援事業における歯科衛生士と多職種との連携を知る | |
| | 高齢者施設① | 1. 高齢者施設における歯科衛生士の役割を理解する 2. 要介護者への口腔健康管理の実際を知る 3. 業務記録の記述ができる | |
| 3 配慮を要する者 | 高齢者施設② | 1. 要介護高齢者の特性とニーズの把握ができる 2. 要介護高齢者を対象とした歯科衛生過程が展開できる 3. 要介護高齢者を対象とした健康教育が実施できる 4. 歯科衛生過程のプロセスを书面化して記録できる 5. カンファレンスの必要性を理解した発言ができる | |
| | 特別支援学校 | 1. 障害児者の特性とニーズの把握ができる 2. 障害児者を対象とした歯科衛生過程が展開できる 3. 障害児者を対象とした健康教育が実施できる 4. 歯科衛生過程のプロセスを书面化して記録できる 5. カンファレンスの必要性を理解した発言ができる | |
| [使用テキスト] | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| 最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論第2版」 「歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版」 「高齢者歯科第2版」「障害者歯科第2版」 「小児歯科第2版」「保健生態学第2版」 「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション」 | | 実習への参加状況および態度、日々の実習日誌、レポート等から総合的に評価する (詳細については評価表参照) | |

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

| 科目名 | 学科 / 学年 | 年度 / 時期 | 授業形態 |
|--|---------------------------------|--|---|
| 特別活動 | 歯科衛生学科/3年次 | 2021年度/後期 | 講義 ・ 演習 ・ 実習 |
| 授業の回数(×90分) | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 授業担当者 |
| 15回 | 1単位(30時間) | 必須 | 坪田 ゆかり ・ 横井 敦子 北原 恵子 ・ 白川 みずえ(実務経験有) |
| <p>[授業の目的・ねらい] 国家試験に合格するためには、各分野に対する深い理解と、応用力が必要である。課題を一つ一つ達成し、国家試験に無事合格し得る総合力を身につける。 【実務経験有】坪田 ゆかり・横井 敦子・北原 恵子・白川 みずえ: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科衛生士国家試験に合格するための学習方法および総合知識を学生へ教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)] 1. 12月時点で歯科衛生士国家試験の模擬試験で6割以上の正答ができる。 2. 1月時点で歯科衛生士国家試験の模擬試験で7割以上の正答ができる。</p> | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 回 | 単 元 | 内 容 | 学習のポイント |
| 1 | 国家試験対策 オリエンテーション 国家試験対策授業 | 1) 国家試験対策のスケジュール説明 2) 昨年度の国家試験の傾向 | ・歯科衛生士国家試験問題集 |
| 2 | 人体の構造と機能 歯・口腔の構造と機能 | 1) 解剖学 2) 生化学 | ・専門用語を調べる ・専門用語を覚える |
| 3 | 疾病の成り立ち および回復過程の促進 | 3) 生理学 4) 病理学 | |
| 4 | | 5) 微生物学 6) 薬理学 | |
| 5 | | ・基礎分野過去問題プリント | ・分野別問題を解く |
| 6 | 歯・口腔の健康と予防に 関わる人間と社会の | 7) 口腔衛生学 8) 衛生・公衆衛生学 | ・専門用語を調べる ・専門用語を覚える |
| 7 | 仕組み | 9) 栄養学 | |
| 8 | | ・専門分野分野過去問題プリント 10) 歯科衛生士概論 ・専門分野分野過去問題プリント | ・分野別問題を解く ・専門用語を調べる ・専門用語を覚える |
| 9 | 臨床歯科医学 | 11) 歯科臨床学 | |
| 10 | | 12) 保存修復学 | |
| 11 | | 13) 歯内療法学 14) 歯周療法学 | |
| 12 | | 15) 歯科補綴学 16) 口腔外科学 17) 歯科矯正学 18) 小児歯科学 19) 高齢者歯科学 20) 障害者歯科学 | |
| 13 | 歯科予防処置論 | 21) 歯科予防処置 ・専門分野分野過去問題プリント | ・分野別問題を解く |
| 14 | 歯科保健指導論 | 22) 歯科保健指導 ・専門分野分野過去問題プリント | |
| 15 | 歯科診療補助論 | 23) 歯科診療補助 ・専門分野分野過去問題プリント | |
| [使用テキスト] | | | 事前学習 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集2022年版 ・complete 歯科衛生士国家試験完全攻略 ・徹底攻略科目別歯科衛生士国家試験過去問題集 基礎科目編 ・国試の麗人Ⅱ直前まとめ編2021YearBook | | | 次回の授業内容をふまえて テキスト・プリントを用いて予習する |
| | | [単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法) | |
| | | 1) 課題・レポート | : 90% |
| | | 2) 出席率 | : 10% |